

平成30年度 福岡県立地企業振興会 北九州部会 実施報告

○日時 平成30年11月6日(火) 11時～18時

○内容 事業継続計画(BCP)視察研修会
(有限会社共栄資源管理センター小郡)

○概要

福岡県小郡市に立地する、有限会社共栄資源管理センター小郡で研修会を開催しました。同社では、中小企業庁が中小企業向けの事業継続計画策定を推奨したことを契機に、平成18年秋に事業継続計画(BCP)策定に向けた社内プロジェクトを立ち上げ、平成19年3月に初回版を策定されました。平成23年3月東日本大震災を教訓に福岡県中小企業団体中央会のBCP策定支援の専門家派遣を活用し、全6回の支援で大幅改訂を実施されました。

最初に中小企業診断士の藺田氏様より「事業継続計画(BCP)の効果とは ～リスク管理+ α ～」という演題で研修会を開催させていただきました。研修では、熊本地震や九州北部地方の過去の災害事例を交えながら、中小企業のリスクマネジメントのポイントを解説していただきました。

また、BCPの必要性、企業に与える影響、策定の効果また策定の手順、進め方等についてわかりやすく説明していただきました。

次に、有限会社共栄資源管理センター小郡 代表取締役社長の野崎様より「BCPからBCMへ 危機管理から継続企業へ」というテーマで会社の取組み事例を発表していただきました。

西日本豪雨災害で体験された出来事等をはじめ、BCPを整備する前と現在の違い、経営上のメリット、有効性、取り組む際の注意点を詳しく解説していただきました。

『企業が「社会の公器」である限り、事業継続は経営者の責任であり、企業はゴーイング・コンサーン(継続企業の前提)を使命として活動するものではないでしょうか。』という社長の言葉が強く印象に残りました。

お二人から、事業継続計画(BCP)について、事例や具体的な取り組みについて説明していただき、本会員にとって大変意義のある貴重な視察研修会となりました。



藺田中小企業診断士による研修会



野崎代表取締役社長による事例紹介